

平成24年度
地域づくり総務大臣表彰

受賞者の概要

平成25年 1月10日

大 賞

長崎県小値賀町	1
---------	---

団体表彰

落石ネイチャークルーズ協議会【北海道根室市】	2
特定非営利活動法人 かなぎ元気倶楽部【青森県五所川原市】	2
プロジェクトおおわに事業協同組合【青森県大鰐町】	3
遠野町第13地区自治会【岩手県遠野市】	3
一般社団法人 おらが大槌夢広場【岩手県大槌町】	4
特定非営利活動法人 蔵王のブナと水を守る会【宮城県白石市】	4
釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会【秋田県大館市】	5
カミスガ・プロジェクト【茨城県那珂市】	5
特定非営利活動法人 子ども大学かわごえ【埼玉県川越市】	6
特定非営利活動法人 かみえちご山里ファン倶楽部【新潟県上越市】	6
一般社団法人 大学コンソーシアム石川【石川県金沢市】	7
春蘭の里実行委員会【石川県能登町】	7
特定非営利活動法人 グリーンウッド自然体験教育センター【長野県泰阜村】	8
一般社団法人 大阪モノづくり観光推進協会【大阪府東大阪市】	8
つぼう郷土史研究会【広島県福山市】	9
錦川流域ネット交流会【山口県岩国市】	9
那賀町農村舞台再生協議会【徳島県那賀町】	10
徳島県立美馬商業高等学校【徳島県美馬市】	10
特定非営利活動法人 グラウンドワーク福岡【福岡県福岡市】	11
特定非営利活動法人 きらり水源村【熊本県菊池市】	11
特定非営利活動法人 八重山星の会【沖縄県石垣市】	12

地方自治体表彰

茨城県阿見町	13
富山県富山市	13
石川県金沢市	14
京都府綾部市	14
島根県松江市	15

個人表彰

木村 正樹【宮城県東松島市】	16
----------------	----

山田 拓【岐阜県飛騨市】	16
小宮 裕宣【大分県豊後高田市】	17

試験研究機関表彰

山形県工業技術センター	18
「能登里山マイスター」養成プログラム運営委員会【石川県珠洲市】	18
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	19
島根県中山間地域研究センター	19
香川県産業技術センター発酵食品研究所	20

長崎県小値賀町

概要

小値賀町では基幹産業である農業・漁業と自然環境を活用した体験型観光による都市部住民との交流を通して地域活性化を図る「グリーンツーリズム」、「ブルーツーリズム」、「エコツーリズム」を一体化した、小値賀町オリジナルの「アイランドツーリズム」に取り組んでいる。平成22年からは島に残る築100数十年の古民家を活用した「古民家再生事業」がスタートし、年間1万人以上の観光客が訪れるまでになった。



【小値賀町の概要】

小値賀町は、長崎県佐世保市より西方に70km、五島列島北部に位置しています。人口約2,850人、火山等で出来た大小17の島々からなり、古くから日本とアジアの貿易の中継港として発展してきました。その当時のなごりとして、島の人々は非常に温厚で人懐っこく、おもてなしの精神と進取性に富んだ気質は今でも受け継がれています。近年は島、そして人の魅力を活かした様々な町づくりに取り組んでいる町です。都会からのIターン者もこの10年で100人以上増えていることや、おぢか国際音楽祭など官民協働型の取り組みも注目されています。

評価された点

- ・「世界一の体験ツアー」とまで評される民泊を中心としたプログラムは、住民の主体性を引き出し、離島活性化の範ともなるべき取り組みだと考える。
- ・離島の活性化の一つの見本として評価。
- ・「何もないことの価値」を世界中に広め、普遍的なものとして見せている点を高く評価。
- ・「アイランドツーリズム」という独自のコンセプトが成功の鍵。
- ・有名な観光資源が乏しい中でNPO法人や地元企業と連携し、自然環境を活かした「アイランドツーリズム」事業を展開し、島全体が一体となって滞在型観光を推進する、日本を代表するグリーンツーリズムの拠点となっている点。
- ・Iターン者の増加は島々の魅力がアップしているから。様々なツーリズムの展開など地域全体の努力とやる気を感じる。
- ・地元住民全員で訪れた旅人をもてなす非常にまれなケース。伝統文化と新しいデザインとの融合に成功し、住民が誇りをもって暮らしている様子を、国内外の人々が評価している。

落石ネイチャークルーズ協議会

北海道根室市

概要

海と共に生きる地域の歴史、貴重な海鳥などの自然環境を観光客等に解説できる地元漁業者を育てることで、地元の魅力を再認識してもらい、次世代への継承を考えるとともに、こうした貴重な人材を活用したネイチャークルーズ運航事業の展開により、地域の活性化に資することを目的としている。クルーズには日本だけでなく海外からも来客が増加している。



評価された点

- ・ 漁協が地域の資源に着目し、そこでしかできないことを地に足がついた形でやっていることを高く評価。
- ・ 漁業者を主体とした観光クルーズの取り組みは大変ユニーク。地域の各主体が関わる地域活性化活動に展開している。
- ・ 漁船を有効活用した体験型バードウォッチング観光というユニークな取り組み。

特定非営利活動法人かなぎ元気倶楽部

青森県五所川原市

概要

H17.11にNPO法人設立。H18から太宰治記念館「斜陽館」と「津軽三味線会館」の指定管理者業務を受託し、地元ローカル線津軽鉄道の旧駅舎を活用した喫茶店「駅舎」の運営なども行う。「年中どこかで何かが面白い」をテーマに、街を地域全体の魅力を詰め込んだフィールドテーマパークに見立てて地域づくりを総合的に進める「太宰ミュージアム」を企画・運営。



評価された点

- ・ 地域の各施設の管理の問題が社会課題となって来ています。指定管理を受託し、連携し継続的に運営して行くことが良策です。その良き手本として、丁寧な運営が評判となっているところです。是非、今後もストーリー性を高め、魅力あるルートづくりとして活動を期待したい。
- ・ 当クラブの活動により、金木町は歩いて楽しめる街となり、観光客の滞在時間が延びている。
- ・ 地域の伝統文化、芸能を活用するとともに、ローカル線の旧駅舎を活用し、観光と文化をリンクさせた点を評価。他地域への波及効果も大きい。

プロジェクトおおわに事業協同組合

青森県大鰐町

概要

日帰り温泉、物販、飲食の各施設を備えた「大鰐町地域交流センター鰐come」の指定管理を大鰐町から受託し、平成21年6月から管理・運営している。同施設の経営改善に取り組むとともに、同施設を活動拠点として地元事業者や農業者との連携による、共同販売事業や地域の伝統野菜「大鰐温泉もやし」などの地域特産品を活かした商品開発等を行うことにより、町全体の活性化にも取り組んでいる。



評価された点

- ・ どん底からはい上がってきたことは評価できる。地域特産品としてのこだわりがいい。連携がうまくいったのが要因だと思う。地域住民が運営したことが成果。
- ・ 地域資源の掘り起こし、管理委託料0円の指定管理者、地元の雇用創出を評価。
- ・ 「温泉」、「地場農産物」という地域の資源をフル活用した活動として評価できる。



遠野町第13区自治会

岩手県遠野市

概要

3.11の東日本大震災では、市の協力要請に基づき13日から22日までの9日間で延べ310人の地区民が炊き出し「おにぎり」11,486個を握り沿岸被災地へ送ったほか、自治会館を県職員、JICA、法政大学、調布市社協等の宿泊所として提供し、4,800人以上を今までに受け入れるなど、沿岸被災地の復興活動を支援した。



評価された点

- ・ 被災地のみならず、後方支援としてそのネットワークが様々な「繋ぐ」役割を果たされました。また、その「繋ぐ」活動はこれまでの永年の積み重ねである証です。今後ますます期待しています。
- ・ 遠野の後方支援は大きな役割を果たしてきており、それを表彰する意味は大きい。地域ぐるみで展開できていることは、今後の災害に強い地域づくりを目指す他地域のモデルとなると考える。



一般社団法人 おらが大槌夢広場

岩手県大槌町

概要

「おおつちありがとうロックフェスティバル」等のイベントの開催や大槌町の震災前後の写真や新聞記事等の資料を収集整理した「復興館」の運営および、地域情報誌「大槌新聞」の発行など、東日本大震災において甚大な被害を受けた、大槌町において農林水産及び商工業の再興と、その担い手である町民の生活再建に寄与することを目的として、活動を行っている。



評価された点

- ・ 地元の人たちが、アイデアを出し合って震災からの復興、地域再建を実現しつつあることを高く評価。
- ・ 復興ツーリズムの推進により、町内の経済活性化に寄与。
- ・ 東日本大震災の震災復興への取り組み、地域内外との連携及び産官業の連携を評価。
- ・ 震災直後から地元住民と東京人等の連携によって、食堂を開始して、地域に食を提供してきた。



特定非営利活動法人 蔵王のブナと水を守る会

宮城県白石市

概要

昭和61年に蔵王のブナ原生林を伐採から守ることと南蔵王の荒廃地をブナやミズナラなど落葉広葉樹の森に復元することを目的に設立。荒廃地で植林活動、森林を伐採から守る活動、一般市民に対する森林の啓発活動。これまでに、のべでおよそ2800人の市民や企業が植林活動に参加し、地域資源としての森林を守り、森づくりに親しんできた。



評価された点

- ・ 長期にわたり、国土の大切な資源である森林の重要性を喚起し、ほぼ自主財源で森づくりの担い手づくりに貢献しているところは評価されるべきである。ただ、今後、会員数をどのように確保していくのが課題の一つかと思われる。
- ・ 雄大な自然を有する南蔵王の環境保護のため、長年に渡り地道に活動をしている点が評価できる。
- ・ 昭和61年から今日まで継続して活動している点は高く評価できる。後継者の育成も行われている。
- ・ 国土維持の最重要スポットの一つ。ここで市民の啓発、担い手の育成など長年にわたる地道な活動が先進事例となって全国に波及することと期待したい。



釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会

秋田県大館市

概要

釈迦内小学校は明治7年向陽学校として創設され、平成16年から「キャリア教育」に取り組んできた。平成23年、釈迦内地区まちづくり協議会内に「ひまわり」で地域の活性化を図るため、「釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会」を設立し、釈迦内小学校と地域との架け橋となって活動。「ひまわり」を、未来に向かう子どもの象徴と捉え、ひまわりの地域ブランド化を目指している。

評価された点

- ・学校教育と地域が一体となって取り組んでいることが評価できる。地域ブランドの確立へ進めば子供たちにとって自信と誇りにもなるのではないか。この事業に期待してみたい。
- ・「まちづくり人づくり」という原点をとらえたプロジェクト。
- ・キャリア教育の一環として取り組んでいる活動として、ユニーク。コミュニティ・ビジネスに発展している点も評価できる。
- ・景観づくり、6次産業化、担い手づくり、それをつなぎ合わせて地域内できめ細かく活動されています。担い手のアイデアがまちづくりとして地域の形として、可視化しながら、連続させていくことが誇りとなります。大切な活動として評価させていただきます。
- ・ひまわりを核とした農商工連携による地域づくり、住民参画の規模と広がり、旧鉱山知己のリサイクルのリサイクルの新たな取り組みとしてもユニーク。



カミスガ・プロジェクト

茨城県那珂市

概要

JR水郡線の支線との分岐駅である「上菅谷駅」に「カミスガ」という新しい街を作ることを目的として、H23.5に本プロジェクトは立ち上げられた。地元の各団体が一体となるほか、周辺市町村の団体とも連携を図り、歩行者天国や駅前ガーデン、短編映画の撮影などに取り組み、広域的な地域活性化にもつながっている。

評価された点

- ・すべて自主財源という点を評価。
- ・新しい「まち」をつくるという発想にたって、地域の多様な資源を再発見し、人々の「モード」を変えている取組みとしては秀逸。



特定非営利活動法人 子ども大学かわごえ

埼玉県川越市

概要

地域の複数の大学の教員や専門家と連携して、小学生（4学年～6学年）を対象に、子どもが「なぜ？」と素朴に抱く疑問を、大学教授をはじめとする専門家が分かりやすく教える授業を行う。子どもたちに新しい知的世界への目を開かせ、興味を喚起し将来の夢を抱かせるための動機づけ・気づきを与え、知的好奇心を刺激することを目的としている。

評価された点

- ・できる限り自主的な財源によって、地域の多様な専門家が相集い次世代の子どもの教育を行っていることは川越の地域への愛着を生む可能性もあり興味深い。また、年々受講生が増える傾向にあることも評価されるべきである。
- ・子ども大学の先駆けとして、子供たちの健全な成長に寄与するとともに、他の地域のモデルとして特色ある取組を行っている点。



特定非営利活動法人 かみえちご山里ファン倶楽部

新潟県上越市

概要

NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部（「かみえちご」）は、平成14年の法人設立以降、上越市の西部中山間地域において、地域の伝統行事の復活や継承の支援、体験事業の実施など、地域振興を目的に総合的な活動を行ってきた。村落の集合体を「クニ」と定義し、土地、人の生活の自給力を基盤とした上に成り立つ、自立的な基礎単位の構築を目指す。「かみえちご」の活動を通じた交流人口は、年間約2万人に及ぶ。

評価された点

- ・限界集落と都市の若者とがうまく出会い、協力し合っている点を高く評価。
- ・今まで数々の賞を受賞していますが、若いメンバーが集まり、地域を元気にしていくモデルケースだと思う。集落の消滅を救うことにつながれば、新しいモデルケースだと思う。
- ・地域住民が自発的に設立し、地域振興を目的に様々な分野で10年間一貫した活動を行っていることが評価できる。また、全国各地へ講師を派遣し、中山間地域活性化への手本事例となりつつある。



一般社団法人 大学コンソーシアム石川

石川県金沢市

概要

県内のすべての高等教育機関と地方自治体が加盟している強みを活かし、地域により事情が異なり多岐に亘る地域課題に対して、大学の枠を超え幅広い専門的知見や人材を結び付ける大学と地域とのマッチング・システムを構築し、大学・学生による地域貢献活動を支援・促進している。



評価された点

- ・これだけ複数の大学の参加を実現し、地域とのマッチングをはかり、知の共有を図っていることは全国的にも珍しい取り組みだと思料。
- ・大学コンソーシアムの成功例として、他県への広がりが期待できる。



春蘭の里実行委員会

石川県能登町

概要

「高齢者が何よりの集落の宝」という考え方にに基づき、高齢者が元気なうちに若者が帰って来ることができる地域づくりを目指した。地域に存在する農家の白い壁や黒い屋根瓦、生活文化、里山を地域資源として、農家民宿による地域活性化を進めるべくグリーンツーリズム特区の認定を受け、平成24年には30軒の農家民宿が開業することになった。

評価された点

- ・高齢者が中心となって、魅力的な農家民宿を立ち上げ、勉強会を重ね、資源の創出にも励んでいる。各地の過疎高齢化がすすんだ地域の範ともなるべき取り組みと考える。
- ・里山・里海という地域資源をうまく活用できている点を高く評価。
- ・農家民宿という視点に立ち、順調に成果を上げているところは評価できる。国際的にも取り上げられていることはすごいこと。



特定非営利活動法人 グリーンウッド自然体験教育センター

長野県泰阜村

概要

人口わずか1,800人の典型的な日本の山村である泰阜村において、里山の暮らしのあり方から学ぶ山村留学事業「暮らしの学校・だいだらぼっち」や、里山の不便さを徹底的に楽しむ自然体験教育事業「信州子ども山賊キャンプ」、村の子ども対象の自然体験教育事業「あんじゃね自然学校」を実施。地域住民や都市部の青年指導者が関わり、人材育成活動としても成立している。

評価された点

- ・次・山村留学制度のまさに模範。主として自主財源を確保し、対数の交流人口を生み出し続けているところは高く評価される。
- ・山村の持つ可能性を積極的に示してくれている点を高く評価。
- ・本当に小さな村ですが、Iターンが増えて地域が元気になっていることは素晴らしいと思う。1億円の予算規模を自力で確保しているNPOはなかなかない。
- ・1億円の予算規模を自力で確保その70%を地元還元している点を評価。また青年の雇用創出している点も評価。
- ・山村での生活に着目し、地域と学校が一体となって、子どもたちを見守り、里山里地の恵みについての理解を深めることができる取組を継続して行っていると同時に、子ども達から感謝されることで、地域の農家のやる気にも繋がっている。



一般社団法人 大阪モノづくり観光推進協会

大阪府東大阪市

概要

「モノづくりのまち東大阪」として全国的に有名なモノづくり産業を核にしつつ、従来からの地域資源も活用した「モノづくり観光」という新たなジャンルを軸として、地域への集客と地域の活性化を目指して、主に修学旅行生と地元のマッチング事業を行っている。修学旅行等を通じて、人生を切り開いていく子ども達にモノづくりの楽しさや大事さ、働くことの意味・意義を伝える。

評価された点

- ・次世代に「モノづくり」の魅力を継承しようという実践的な取り組みを高く評価。
- ・東大阪ならではの特色ある取り組み。
- ・「ものづくり観光」という新しいジャンルで、東大阪にとまらず、日本全体、世界を見据え果敢に挑戦している。会費収入と事業収入による運営を行い、自主的な取り組みを行っている。
- ・中小企業の集積する東大阪の「モノづくり観光」という新しい取り組みを評価。



つぼう郷土史研究会

広島県福山市

概要

地域住民から、「子どもたちにとっては坪生が故郷である。ところが、子どもたちはもちろん親たちも坪生のことをまったくわからないので教えてほしい。」との要望があり、古文書解読講座の会員が講師となって、史跡めぐりを実施。その後、昭和57年に同講座の会員が主体となって同会を設立。町内90ヶ所に説明板などを設置し、ガイドブックやマップを作成した。



評価された点

- ・継続性、自主財源主体の点、統合学習に効果が期待できることを評価。
- ・会員だけでなく、地域の住民や出身者に会報を配り、会員数や寄付金の金額に増加がみられるという特色がある。たずね歩きガイドなどの多彩な活動を通じて、地域住民(特に子ども)が地域を知る機会の創出となっている。



錦川流域ネット交流会

山口県岩国市

概要

平成12年7月、錦川流域各地で川に関する地域活動を行う市民、団体が集まり、錦川流域一斉清掃が行われた。それを契機に平成14年11月に錦川流域で活動する錦川をこよなく愛する団体、その趣旨に賛同する企業、団体、32団体が集まり錦川流域ネット交流会が発足。源流の碑の建立やオオサンショウウオの保全活動など、現在46団体が活動を行っている。



評価された点

- ・県内最長・最大河川を多数の団体の集合体で維持するとともに、流域の交流の場になっていることを評価。
- ・錦川流域で活動する多数の団体がまとまって継続的に活動を行い、流域住民の交流や構成団体同士の意思疎通に大きな貢献をしている。
- ・「錦川流域」に関わる団体が連携協働しながら、保全活動や交流事業を行っている点が評価できる。
- ・流域連携の成功例として、他流域への広がりが期待できる。



那賀町農村舞台再生協議会

徳島県那賀町

概要

徳島県内の神社の境内には、人形芝居用の農村舞台が全国で最も多く現存しているが、那賀町には、その約半数(45棟)の舞台が残っており、その数は全国一。この那賀町ならではの文化資源を活用し地域の活性化を図るため、地元青年団とともに新たな人形座「丹生谷清流座」を立ち上げ、農村舞台を活用した人形浄瑠璃公演を行い地域の文化継承に取り組んでいる。



評価された点

- ・ 地域文化資源の好活用例。
- ・ 伝統文化の伝承としての深く高い価値はもちろんのこと、それを更に次の担い手や他地域のアート系の人々に伝え、共に活動して行く動きを丁寧につくり、持続しています。徳島だから実現出来る、未来に繋げる文化活動として、高く評価したいと思います。
- ・ 農村舞台の復活と活用に長年関わってきた点、東京の大学なども連携し、伝統文化を新たに活用しようとしている点が評価できる。
- ・ 歴史的な舞台の保存と公演を行い、文化継承に取り組んでいる点。

徳島県立美馬商業高等学校

徳島県美馬市

概要

情報処理等の学習を活かし、ネットショップ「みまからドットコム」を開設。美馬地域で生産されている青唐辛子を使った薬味「みまから」が大変な評判となっている。「美馬商映画祭」や「観光ネット検定」の実施により、その効果として道の駅の売上が2.2倍に「うだつ吉田住宅」への入場者が2.7倍となるなど、地元の特産品、文化、名所を活かした取組を行っている。

評価された点

- ・ 高校生が、自分たちの地域を見つめ、再生につながる努力をしている点を高く評価。
- ・ 高校生と地域が一体となった取り組み。
- ・ 「みまから」を全国区にしたインパクトは地域にとって大きく、高校生が主体的に取り組んだ事例として、是非若い人を応援したい。



特定非営利活動法人 グラウンドワーク福岡

福岡県福岡市

概要

平成11年より視覚障害者の職域拡大を目指し、福岡県立福岡視覚特別支援学校でハーブガーデン整備を実施。障害者のバンドを招いての「花のジョイントコンサート」を毎年開催している。また、矢部川流域のまちづくりに関わり、「矢部川流域サミット」を企画。平成19年度より「八女市ほたと石橋の館」他4施設の指定管理を受託している。



評価された点

- ・ 独創的な工夫を重ね、新たな相互扶助につながる可能性を高く評価。
- ・ 誰でもが安心して暮らせること、それは障害者のみならず、住みたくなる地域づくり、環境づくりです。一人一人が個性を伸ばせる考え方を軸に取組まれており、多分野のスキルを持ったメンバー構成によって、自立型の運営を心掛けています。それらの実績等からも多くの理解者や支援者を集めていることが伺えます。今後も引き続き活動の充実を期待しています。
- ・ イギリスウェールズ旧産業地域の活動を同じ産業地域を抱えていた福岡県の職員が導入した点や海外の団体と交流も評価できる。

特定非営利活動法人 きらり水源村

熊本県菊池市

概要

NPO法人きらり水源村では、「学校が楽校に生まれ変わりました」を合言葉に、きくちふるさと水源交流館を、菊池市における地域活性化、グリーンツーリズム、青少年の自然農業体験などの拠点施設として活用し、地域活動のコーディネーターとなり、持続可能な未来づくりに取り組んでいる。

評価された点

- ・ 「きらり人」として地域住民に積極的に参加できる仕組みを創設し、訪れた人に個別の体験で売り出すのではなく、この地区での暮らしや生業が体験できるよう、種類豊富な体験プログラムが開催されている。
- ・ 水源地区活性化のモデルケース。
- ・ 学校跡地を活用し、都市農村交流をキーワードに展開している点や地域産業の振興にも取り組んでいる点が評価できる。



概要

「VERA石垣島観測局」の管理運営を始めた平成14年から、市民へ石垣島の「星空」の魅力をアピールしていくため、市内の小学校を対象に星空ガイドの受入を行うと共に、「石垣少年自然の家」とタイアップし、星空観察会を同少年自然の家でスタート。また石垣市、NPO法人 八重山星の会などで組織する実行委員会により「南の島の星まつり」を毎年開催している。



評価された点

- ・会場一斉ライトダウンという官民あがての取り組みを高く評価。
- ・「美しい！」夢のある取組。地域の持つ強みを生かした活動。
- ・地域の特性をフル活用して、長期的な取り組みをすることが幅広い支援を集める鍵となります。天文愛好家のみならず、「どうしても行ってみたい」の「夢」を育てるための稀少性の高いプログラムづくりが重ねられています。高く評価したいと思います。



茨城県阿見町

概要

海軍飛行予科練習部が設置され、海軍の町として歩んできた歴史を継承するため、戦史の記録伝承と平和を考える場として、予科練平和記念館及び霞ヶ浦平和記念公園を整備した。記念館来館者は、平成22年2月のオープン以降15万人を越えた。「戦争と平和」をテーマにした希少性ある地域資源の活用により、観光客の誘致や地域の教育及び文化の向上に貢献している。



評価された点

・「時」を伝えていく役割を地域は担っています。幅広い交流人口を拡大し、根の強い絆を作っていくことも、地方自治体のお役目でもあります。伝えていくことで、「平和」への活動を広げていくことに結実させている点を評価させていただきます。

富山県富山市

概要

富山市では、本格的な人口減少や急速な少子・高齢化の進展など、都市を取り巻く諸課題に対応し、誰もが暮らしやすく、質の高い生活を享受できる持続可能なまちの実現を目指し、LRT鉄道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型の「コンパクトなまちづくり」を推進している。



評価された点

- ・コンパクトシティの先進地としての様々な取り組みを評価。
- ・人口流出、少子高齢化などの問題を抱える地方都市の参考となる先進事例。
- ・エネルギー、環境、景観、交通システムを視座としたコンパクトな街づくりの構想は都市の骨格にかかわる大胆でユニークな計画。わが国の地方都市の多くが直面している課題であり、先進的な取り組みとして評価される。
- ・コンパクトシティなど、実質的に最も具体的な事業を実施してきていること、市長のリーダーシップも大きく今後の自治体のモデルとなる。
- ・「コンパクトシティ」を中核においた地域づくりは、今後の日本の地域づくりに大いに参考になる。

石川県金沢市

概要

学生のまちとしての伝統と誇りを継承発展させ、金沢を将来にわたり希望と活力に満ちた魅力あふれるまちを目指し、①学生を育む社会的気運の醸成、②学生の自主的な活動を促進、③相互の理解と連携を図るための全国で初となる「金沢市における学生のまちの推進に関する条例」を制定し、学生と市民との相互の交流及び学生とまちとの関係が深まり、にぎわいと活力が創出されるまちづくりを推進している。



評価された点

- ・全国初となる「金沢学生のまち推進条例」を制定し、複数の学生が地域の人々と交流できるようなさまざまな仕掛けを実践しているところは、地域への愛着を高め、地域を知る機会を提供していると考えている。若者の地域づくり参加を促進するための面白い取り組みと考える。
- ・学生と市民が協働してまちづくりに取り組む仕組み作りが先進的。
- ・グローバル化が進み、多くの面で社会の行先が不透明な今日、次代を担う人材の育成は最大の課題。高等教育機関集結を活かし、学生が中心となった大学、市民連携による街づくりは、社会が学生を育て、学生が社会を創るこれからの時代に向けた試みである。

京都府綾部市

概要

市の水源地域に位置する集落は、水源かん養、国土・自然環境の保全、心をいやす安らぎの空間等として重要な役割を担っているが、都市部への人口流出や少子化等により、過疎・高齢化が進行し、地域社会における活力が低下している。平成19年4月に全国に先駆けて「綾部市水源の里条例」を施行し、いわゆる“限界集落”の活性化に取り組んでいる。



評価された点

- ・限界集落の活性化というのは一口で言うのは簡単ですが、現実には至難の業に近い。経済活動にも力を入れて成果が見られる。
- ・「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」という視点が「限界集落」対策の今後の道しるべとなる。
- ・全国初の水源の里条例を制定し、全国水源の里シンポジウムを開催するなど流域連携の必要性を全国に向けて発信するなどの取組が評価できる。
- ・過疎地への対応としても「水源の里条例」など活発な取り組み。先進的であり地域経済循環に有効な地域産業政策を展開している点を評価。

島根県松江市

概 要

松江市では、国産プログラミング言語「Ruby」を軸とした地域振興・産業振興の取組として「Ruby City MATSUEプロジェクト」を平成18年度にスタート。「Rubyといえば松江」「松江といえばRuby」といわれるような「Rubyの聖地」を目指してシティ・プロモートを行い、新たな「地域ブランド」の創造と産業の活性化を目指すとともに、Ruby人材を地域で育成し地域での雇用につなげている。

評価された点

- ・プログラミング言語を「地域ブランド」として育てていこうとするユニークな取り組みを評価。
- ・大都市の模倣ではなく、オンリーワンの地域づくりを目指し、全国に先駆けてプログラミング言語による地域ブランド創出の取組を行ったことが評価できる。
- ・「プログラミング言語」という地域資源を経済、文化、誇りづくりと結び合わせている点を評価したいと思います。地域づくりには、人材育成の観点から参加の機会を提供する仕掛けづくりが重要とされます。その点では、可視化して伝え、体験し、夢を広げていくことのできる活動と思います。
- ・松江という都市のイメージを新たに作るユニークな地域情報産業創出の取り組み。地域の新たな雇用創出としても効果を生み出している。



木村 正樹

宮城県東松島市

概要

「いしのまきNPOセンター」の専務理事として地域づくりを行うNPO等を支援してきたほか、「東松島まちづくり応援団」の理事として、市内の酒造店跡地を利用した「東松島ひと・まち交流館」及び「東松島ふれ愛プラザ」の運営に携わり、各種セミナー、体験講座、コンサートや市民活動、まちづくり相談会の開催や、ギャラリーとして地域の人々の交流の場を提供してきた。



評価された点

- ・長年の活動実績とその蓄積を震災後の活動につなげた点を高く評価。
- ・いしのまきNPOセンターの活動は復興にうまくつなげていることと、市民の活動が活発化している。
- ・東日本大震災の地域づくりの活動は、市民、NPO、企業、行政などと連携した精力的な取り組みであり、被推薦者のこれまでの長期にわたる実績を活かしたのもとして高く評価される。
- ・震災復興に力を注いだ点が評価できる。



山田 拓

岐阜県飛騨市

概要

2007年、「クールな田舎をプロデュースする」(株)美ら地球(ちゅらぼし)を飛騨市古川町に設立。自らの旅人経験を活かし、里山や民家など地域資源を活用したツーリズムを推進している。地域に受け継がれた景観、伝統工法で建設された古民家、人々に根付く暮らしや営みを資源と捉え、それらの資源を住民とともに見つめ直し価値を再認識。



評価された点

- ・地域資源をいかしたツーリズムとして成果をあげている。これからの中山間地域活性化のモデルとなりうると思料。
- ・「なんもない・・・からクールな田舎へ」という逆転の発想を評価。キーワードの響きがよい。
- ・ICTの知識を基に、地域の文化をグローバルに発信し、地域住民の信頼を得ている。ビジネス化にも成功し、行政支援なしでの運営にこぎつけている。37歳と若く、今後の活躍が期待される。
- ・飛騨市古川での活動は5年ほどにすぎないが、成果は大きく、被推薦者の企画力、情報収集力、積極性を高く評価したい。古川の事例が、国内の古民家やそれを抱える市町村の再生発展につながることを期待したい。



小宮 裕宣

大分県豊後高田市

概 要

小宮氏の豊後高田市の関係者に多大な影響を与えた取組は、「休まない」ということと、「観光地」とはこういうものだという姿勢を、身をもって示してくれたことである。「豊後高田 昭和の町」に来てくれたお客様をがっかりさせたくないという思いで、休日も営業を続け、元旦も自ら企画した「昭和ロマン 蔵 蔵開き」を開催するなど、お客様本位営業と、おもてなしの姿勢を実践している。

評価された点

- ・「昭和のまち」というコンセプトを前面に打ち出すことで豊後高田市の商店街を再生された好例。資源や特徴をいかした商店街活性化の一つのモデルとなりうると考える。
- ・個人の努力によって地方都市を魅力的にしていることを評価。
- ・「昭和の町」というブランド作りへの多大な貢献と、地元の人に見せたおもてなしの姿勢を高く評価。
- ・小宮氏の個人的なコレクションや考え方が地域に影響を与え、活性化につながっている。
- ・個人の夢と資源を地域に提供して、飛躍的な街の発展に貢献されました。また、これらの活動は全国的に知られるようになったものの、なかなか個人の夢で集めた宝資源にまで管理費等の補助・支援は行き届いていません。多くの人に楽しんでもらいながら、個人管理されている小宮氏の御努力に敬服致します。
- ・熱意あふれる人柄は、地域住民から敬意をもって受け入れられている。豊後高田を全国区に引き上げた功労者。
- ・「豊後高田 昭和の町」として中心地機能の新たな創出に貢献した。「駄菓子屋の夢博物館」などユニークな拠点づくりに尽力。



山形県工業技術センター

概要

地場産業である酒造業を守り蔵元のある町を守るため、工業技術センターと県内蔵元が一体となって、人づくり、米づくり、酒づくりによる地域振興に取り組んできた。全国新酒鑑評会において、平成16年に金賞受賞酒数が全国1位となり、その後も上位3県に入り続けるなどの成果を上げて、県内55蔵元の意気も大いに上がった。また、若い杜氏に技術の伝承が進み、酒蔵の観光資源化、酒米の生産地域の育成などが図られて、地域の活性化に結びついた。



評価された点

- ・ 地元の特産品を中心に、人づくりにまでつなげ、成果を上げている点を高く評価。
- ・ オール山形オリジナル指向は、蔵元だけでなく、県民から高い支持を得ている。
- ・ 酒類飲料品の販売競争が激化するなかで、人づくり、米づくり、酒づくりを掲げて、県内の蔵元とセンターが一体となって取り組んだ活動は見事であり、高く評価できる。
- ・ 工業技術センターの試験研究機能とコーディネート機能を活用し、県内蔵元の活性化と新製品開発を達成した点。



「能登里山マイスター」養成プログラム運営委員会

石川県珠洲市

概要

自然と共生した美しい能登半島の再構築を目指して、就農を志す若い担い手を能登に呼び込み、環境保全型の農業を実践し、農産物に二次、三次の付加価値をつけて市場に出すと同時に、能登の自然や文化資源を生かしたグリーンツーリズム型観光の拠点を創り出す地域リーダーを養成する。学舎には珠洲市の廃校舎を活用している。



評価された点

- ・ 高等教育機関がない能登地域において、多数の機関のコラボレーションによって「能登里山マイスター」養成プログラムを立ち上げ、修了者が奥能登に定着しはじめている。人材育成と地域活性化を考える上での参考となる事例。
- ・ 里山里海概念をもとに農林漁業の後継者を再生する仕事とを自治体と大学の協力で進め、実際に約100人の人材を育てていることを評価。
- ・ 全国の大学の地域連携のモデル。
- ・ 過疎対策には産業を興して若者の都市流出に歯止めをかけ、グリーンツーリズムなどで人を呼び込むことが重要である。本件は能登の自然や文化資源を活用して起業するマイスター養成を目的としたものであり、大変な苦を伴う壮大な構想である。高く評価したい。



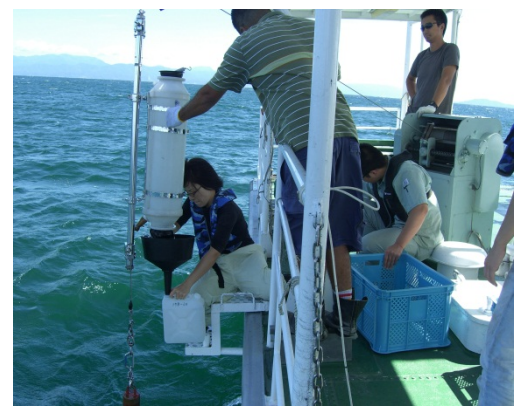
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

概要

琵琶湖と滋賀の環境に関する試験研究拠点として、「低炭素社会の実現」と「琵琶湖環境の保全・再生」を主要課題とした研究を実施している。未知の現象を解明し、研究成果を総合的に解析することにより、行政への政策提言を行うなど行政課題に対応するとともに、得られた知見を社会に還元し、県民の環境保全活動を科学的側面から支援している。

評価された点

- ・環境の劣化が進んでいた琵琶湖を再生することからはじまり、地球環境問題への取り組みまで発展した滋賀県の活動を支えてきたことを評価。
- ・湖沼研究をリードし実現可能な形で社会に還元しようとしている姿勢を評価。
- ・長年にわたる琵琶湖への環境監視モニタリングにより蓄積された研究結果をもとに、湖沼環境の問題の解決にあたっており、その成果は同様の課題に直面した他の地域でも問題解決に大きく寄与している。
- ・研究と行政が一体となった政策推進モデル。



島根県中山間地域研究センター

概要

中山間地域対策に係る調査研究並びに農業、畜産及び林業の試験研究を総合的に実施するとともに、研究成果を生かした研修の機会の提供、技術指導、情報提供等を行うことにより、中山間地域の活性化を図るために設置。中山間地域対策を専門的に研究する機関としては全国唯一の機関である。また、県有林の管理及び森とのふれあい活動を実施している。

評価された点

- ・社会科学、自然科学の両面から中山間地域対策を研究する機関。中山間地域対策は、確かに、このような学際的な融合から新しい報告性が見いだせると考える。このような機関が各地で活動を行い知の共有を図ることで対策は見いだせると期待できる。
- ・地域の必要から出発したセンターであるが、全国の中山間地域の問題解決のセンターとなりつつあることを評価。
- ・中山間地域対策に関する調査・研究は、全国各地の同様の課題を抱える地域に役立つ可能性がある。
- ・地域特性を永年継続的に研究・検証して行くことが重要です。そのためには、その地域地域に地域研究センターが必要であり、そうした活動こそ、今後自立型社会を形づくって行くための下支えとなると思います。今後も期待し、これまでの活動を高く評価したいと思います。



香川県産業技術センター発酵食品研究所

概要

明治38年に小豆島醤油醸造試験場として設立されて以来、島の試験場として、醤油醸造企業はもとより、オリーブ、佃煮、素麺などの地場産業企業とともに島民にも愛され育てられながら、地域密着型の試験場（研究所）として地域産業の発展に永年にわたり貢献してきた。最近「醤の郷」など、住民と一体となった地域づくりに参画している。

評価された点

- ・ 地域密着型で地域における課題に取り組み成果を上げている。
- ・ 「地域密着型」。住民との関わりが見える点を評価。
- ・ 伝承分野は歴史的に地域文化として確立されていながらも、検証無くしては、その価値の認識が深まりにくいものです。より多くの人にその違いを知ってもらい、また、次世代へ魅力を伝え、広く世界に伝播させていくために、日本食ブームの今だからこそ、注目したいと思います。
- ・ 発酵食品は日本が誇る伝統食品である。醤油醸造から出発して今の研究所となっておること自体がユニークであるが、その役割をこなして現在の地域づくりに貢献し、発展していることを評価したい。
- ・ 小豆島の醤油産業振興に果たしてきた長年の貢献。オリーブなどの新しい地域資源の活用にも積極的に取り組んでいる点が評価できる。

